

新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための 緊急対策第3弾 (令和2年第2回定例市議会提案分)

令和2年（2020年）5月21日

札幌市

新型コロナウイルス感染症に立ち向かうための 緊急対策第3弾

現 状

- ◆ 4月16日に全都道府県を対象として発令された緊急事態宣言は、5月14日に39県で解除されたが、相当数の新規感染者が発生している北海道を含む8都道府県では継続
- ◆ 北海道では、札幌市を含む石狩振興局管内は休業要請を継続
- ◆ 本市における感染拡大第2波のピークは過ぎたものの、油断は出来ず、次の感染拡大の波に備える必要
- ◆ 長期にわたる休業要請により、市民生活と市内経済に深刻かつ広範な影響

対策の考え方

- ◆ 次なる感染拡大の波に備えるため、PCR検査の強化と医療機関支援の拡充により医療提供体制を確保
- ◆ 対策の長期化が見通される現状を踏まえ、当面の事業者支援と、解除後を見据えた、感染拡大防止と両立し得る段階的な経済活動の再開の取組が必要
- ◆ まずは「新しい生活様式」を踏まえた対応と、経済活動再開の第一歩である市内消費の回復に向けた準備を進める

各フェーズにおける対応イメージ

新しい生活様式の実践

緊急支援フェーズ

経済活動再開フェーズ

経済回復フェーズ

感染症拡大の収束に
目途がつくまでの取組

感染拡大防止と両立し得る
段階的な経済活動の再開

収束後の取組

医療提供体制の強化

感染拡大防止

事業の継続と雇用の維持

市民生活を守る取組

経済活動の再開を見据えた
基盤づくり

市内消費の回復

官民を挙げた
経済活動の回復

地域経済・住民生活
の活性化

対策第1弾・第2弾
(1臨補正・2臨補正)

対策第3弾(2定補正)

緊急対策第3弾

※「対策規模」は今回の補正予算額に加え、令和元年度及び2年度の既往予算による対応額や融資枠の拡大分等を含めた金額です

令和2年第2回定例会市議会（新型コロナ対応分）

全会計補正予算 378億円

対策規模		
これまで	第3弾	合計
2,496億円	604億円	3,100億円

1 必要な医療の提供と 感染拡大防止のために 36億円

対策規模		
これまで	第3弾	合計
38億円	34億円	72億円

市民の命を守る医療提供体制の強化と、福祉サービスにおける感染拡大の防止

◆PCR検査体制の強化【779百万円】

- ・検体総数は、**最大500件/日**を目指す

◆入院患者受入体制の強化【1,497百万円】

- ・民間病院体制整備への協力金（最大600万円/病院）
- ・入院患者受入医療機関への補助
（陽性患者…30万円/人、疑似症患者…15万円/人）
- ・個人防護具の追加調達等

◆介護サービス事業所や障がい福祉サービス事業所等が講じる感染症対策への補助

【124百万円】 3

2 事業の継続と雇用の維持、 生活を支えるために 328億円

対策規模		
これまで	第3弾	合計
2,458億円	506億円	2,964億円

<中小・小規模事業者等に対する支援> 310億円

経営に大きな打撃を受けている事業者の資金繰りや「新しい生活様式」の取組への支援

◆資金繰りに苦慮する中小企業等の運転資金の支援のため「新型コロナウイルス対応支援資金」及び「新型コロナウイルス緊急資金」の融資枠の拡充、信用保証料や利子の補給【29,661百万円】

- ・融資枠：350億円⇒**800億円** ・信用保証料補給：1,470百万円⇒**3,143百万円**
- ・利子補給：81百万円⇒**169百万円**

◆経営持続化臨時特別支援金を創設し、経営の持続化に向けた感染拡大予防のため、「新しい生活様式」を実践する事業者への支援【1,337百万円】

- ・北海道と共同及び上乗せ支援を実施し、1事業者あたり一律10万円支給（市内約25,000事業者）

<市民生活への支援> 18億円

感染症対策の最前線で尽力されている様々な方に感謝や応援の気持ちを届ける取組や、感染拡大の影響を受けている家計負担を軽減

◆「新型コロナウイルス感染症対策支援基金」(**愛称：新型コロナウイルス札幌ささえあい基金**)を創設し、医療従事者など感染症対策の最前線で尽力されている様々な方への支援【500百万円】

◆収入が減少した被保険者等に対する保険料の減免及びそれに伴う還付【699百万円】

(国民健康保険会計・後期高齢者医療会計・介護保険会計)

- ・対象者：事業収入等が、前年度より30%以上減少しているもの等

3 経済活動の回復のために 15億円

対策規模		
これまで	第3弾	合計
—	65億円	65億円

経済活動再開の第一歩である市内消費の回復に向けた準備

- ◆市内の飲食店や小売店等で使用可能な、プレミアム付商品券の発行【1,284百万円】
 - ・発行総額：60億円（50万冊発行）
 - ・1冊10,000円で販売し、12,000円分使用可（プレミアム率20%）
- ◆市民に対して、定山溪地区で利用できる割引クーポンを発行【110百万円】
 - ・対象者：定山溪地区のホテル等で宿泊した市民
 - ・市民5万人を対象に、2,000円/人のクーポンを配布

市内の感染状況を十分に見極めたうえで、時機を逸することなく
事業を開始できるよう、準備を進めてまいります

緊急対策第3弾の主要な財源

- ・国庫支出金 28億円（内、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 19億円）
- ・一般財源 41億円（内、財政調整基金 38億円）

(参考) 国や道と連携した新型コロナウイルス対策の事業者向け支援

札幌市の取組
総額936億円

<融資・貸付>

【国・道の取組】

- ◇ 【国】 新型コロナウイルス感染症特別貸付
(1事業者あたり3億円)
- ◇ 【道】 経済環境変化対応資金
(経営環境変化対応貸付:2億円、
新型コロナウイルス緊急貸付金:8,000万円)
新型コロナウイルス感染症対応資金:6,000万円

◆…2定補正計上
◇…それ以外

【札幌市の取組】 融資枠総額 800億円

- ◆ 新型コロナウイルス対応支援資金
【限度額:2億円】 見込件数:3,200件
信用保証料 31億円
- ◆ 新型コロナウイルス緊急資金【利子補給1.7億円】
【限度額:500万円(及び対応支援資金の融資額の1/4)】
- ◇ 中小企業支援センター窓口体制の強化・充実【1.6億円】※1臨+2臨補正

札幌市の取組834億円

融資実績【5/13時点】
融資件数 1,608件
融資額 412億円

<給付・補助金>

【国・道の取組】

- ◇ 【国】 持続化給付金
(中小・小規模事業者200万円、個人事業主100万円)
- ◇ 【国】 雇用調整助成金

【札幌市の取組】

- ◇ 繁華街感染防止対策支援【1.5億円】※2臨補正
・すすきの地区における感染症対策の取組に対し、25万円/店を補助
- ◇ 商店街感染防止対策支援【1.9億円】※2臨補正
・商店街が導入する感染症対策に資する取組や安全性PRを対象に、必要な経費を補助

札幌市の取組32億円

北海道との連携策

- ◇ 【道】 休業協力・感染リスク低減支援金
(休業要請等に応じた法人30万円、個人20万円、
19時以降の酒類提供を取り止めた飲食店10万円)

- ◆ 北海道と共同した休業支援金、経営持続化臨時特別支援金【計28億円】※①は2臨補正
- ①道と合わせて一律30万円の休業支援金
- ②休業要請に応じた事業者…道と共同で各5万円給付
- 持続化給付金対象事業者…5万円を上乗せ給付

} 事業者25,000件

<消費喚起>

【国・道の取組】

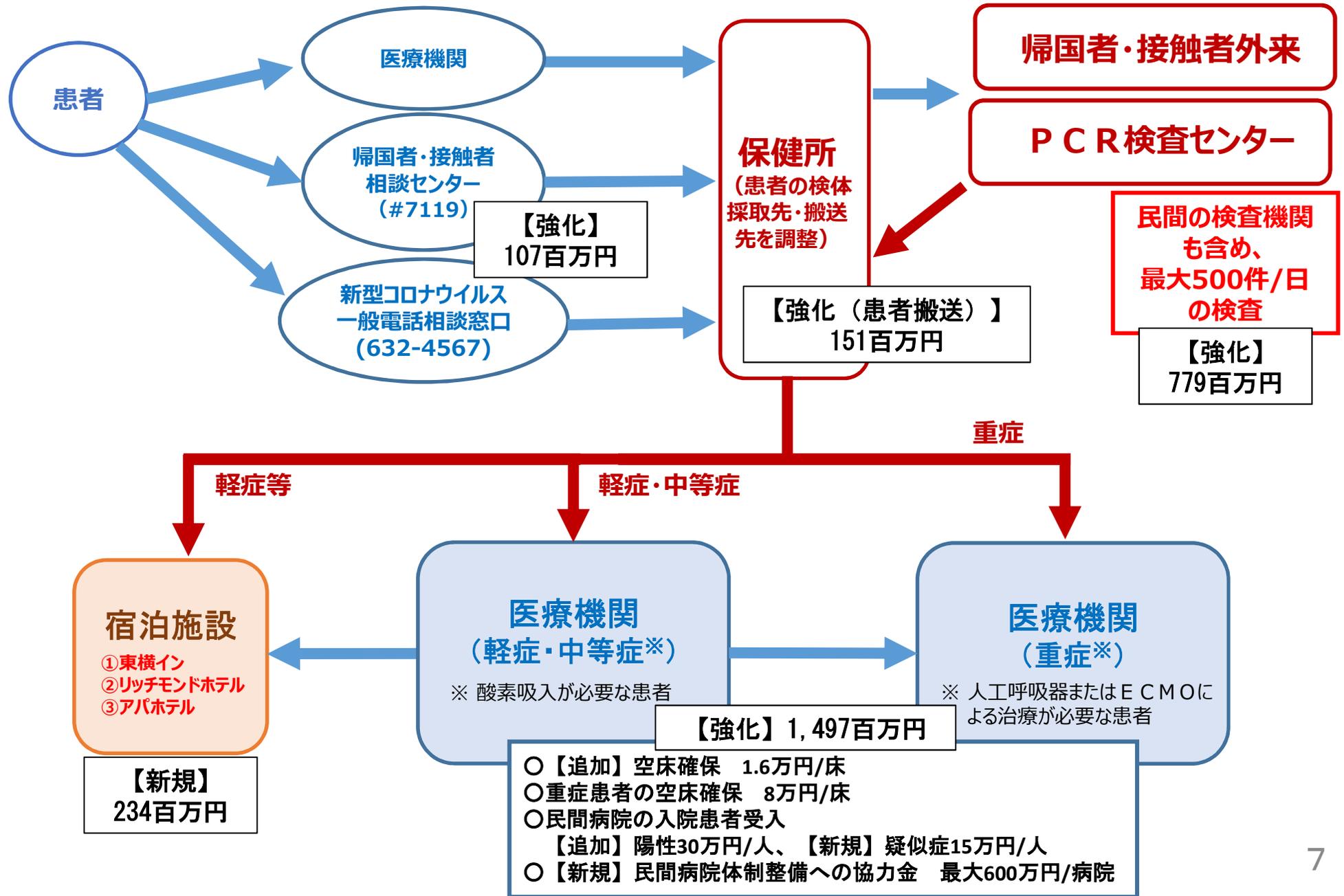
- ◇ 【国】 GoToキャンペーン【1兆7千億円】
・旅行、飲食、イベント、商店街等からの地域
活性化策
- ◇ 【道】 道産食品のネット販売支援【1.2億円】

【札幌市の取組】

- ◆ SAPPOROおみせ応援商品券発行事業【13億円】
・発行冊数50万冊 販売額60億円(プレミアム率20%)
- ◆ 定山溪地区誘客促進【1.1億円】
・宿泊者5万人にクーポン券2千円(1千円×2枚)を提供
- ◇ 飲食店の未来応援事業【1.8億円】※2臨補正
・クラウドファンディングを活用した市内飲食店約2,000店舗の資金調達(販売額4億)

札幌市の取組70億円

新型コロナウイルス感染症患者の受入体制強化（第3弾）



新型コロナウイルス対策に関わる様々な取組を支援していくため、

- 「新型コロナウイルス感染症対策支援基金」を創設します
<愛称：新型コロナウイルス札幌ささえあい基金>
- 使途
 - ・新型コロナウイルスの対応に尽力している医療機関への支援
 - ・新型コロナウイルスの影響による様々な課題に対する取組への支援 など

寄付方法

○インターネット

- ・ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」（個人の方）

<https://www.furusato-tax.jp/city/usage/01100>

- ・札幌市公式ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/somu/kifu/corona.html>

※ 詳しくは公式サイトをご覧ください

🔍 札幌市 新型コロナ 寄付

検索

○電話 011-211-2022（札幌市秘書課）